

## 教育民生常任委員会 摘 録

1. 開催日 令和4年9月7日(水) 第2委員会室
2. 出席委員 林高正委員長 宇江田豊彦副委員長 坂本義明 藤木百合子 國利知史 前田智永
3. 欠席委員 なし
4. 事務局職員 丸飯龍太議会議務局主任主事
5. 説明員 なし
6. 傍聴者 なし
7. 会議に付した事件
  1. 生活交通について(視察のまとめ)
  2. 中間報告書(案)について
  3. 閉会中の継続調査について

-----  
午後3時22分 開 議

○林高正委員長 教育民生常任委員会を開会いたします。本日の協議事項は、1点目が生活交通について、視察のまとめです。2点目が中間報告書案ということで、所管事務調査の報告書で、学校の適正配置等の報告書についてです。3点目が閉会中の継続調査についてということで、3点を協議いただきます。

### 1 生活交通について(視察の計画)

○林高正委員長 では、1点目の生活交通について、視察のまとめということになっておりますけれど、報告書は皆さん、出していただきましたよね。どのようにさせていただきますでしょうか。任せていただいたら正副委員長でまとめさせていただきますが。よろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○林高正委員長 では、生活交通についての視察のまとめは、正副委員長で調整させていただきます。

### 2. 中間報告書(案)について

○林高正委員長 2点目、中間報告書案についてでございます。皆様のお手元に所管事務調査報告書案というものを配付いたしておりますので、少し時間を取りますので、お目通しいただいたらと思います。これを読んでいくと時間がかかりますので、皆さん流し読み、斜め読みしていただきたいと思っております。内容的には皆さんが書かれた報告書をまとめて書いておりますので、これはいいことを書いていると言って、自分が書いていたりしてね。最終的な総括部分は、これも私が鉛筆なめなめ書いたので、これはいけんよとか、もうちょっとこういうのがいいよとおっしゃったらそのように書かせていただきたいと思っております。5分程度読んでみてください。暫時休憩。

午後3時24分 休 憩

午後3時28分 再 開

○林高正委員長 再開します。調査報告書を今、皆さんごらんいただいたところですが、先ほど申しましたけれど、表現についてこのように変更したほうがいいのか、これをもうちょっと強く言ってほしいとか、そういうところがあったら言っていただきたいと思います。副委員長。

○宇江田豊彦副委員長 総括2段落目ですね。個人的にダブルスタンダードと感じたというのはいらないのではないか。視察したでいいのではないかと。

○林高正委員長 そこはさっきも指摘があったので、ちょっと考えます。自分で書いても、そこは余りよくわからない。それと、永末小学校の部分で改善策を考える必要があるという程度でふつつと切ってしまうているけれど、何かもうちょっといい表現ができないかなと思ったのですよ。建てかえということは書かれないから。

〔「施設改修でいいのではないかと」呼ぶ者あり〕

○林高正委員長 施設改修も必要というのを入れたほうがいいのか。それを入れましょう。施設改修も検討すべきか。最後のところ、またこれも副委員長に言ったらそれはいらないのではないかと問われそうだけれど、答えは1つではない。これはわざと書いたのだけれど、消しましょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○林高正委員長 消してしまいました。あとの内容についてはどうですか。これは皆さんの報告書のものでそちらへ転記しているわけで、変わったことは書いておりません。これでよかったら修正を加えて30日に本会議で報告させてもらってもよろしいですか。藤木委員。

○藤木百合子委員 善良な状況という言い方をするのだろうか。この漢字が、7ページの中ごろの山内小は築36年であり、施設の点検を総合的に教育委員会としてすべきである。善良な状況ならの善良は、善良でいいのか。善良な状況なら点検をするだけでよい、これはこの漢字でいいのか。

○林高正委員長 これは宇江田副委員長が書いたのではないかと。

○宇江田豊彦副委員長 どうだったか。

○林高正委員長 別に問題ないのなら、善良なら点検だけはしないといけないけれど、課題があるのだから、計画的に修繕しろということを逆説的に書いている。よろしゅうございますか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○林高正委員長 では、そのようにさせていただきます。

### 3. 閉会中の継続調査について

○林高正委員長 続いて3点目、閉会中の継続調査でございますけれど、右下に書いてある地域包括ケアシステムの構築について、教育条件整備について、学校適正規模・適正配置、就学前教育、感染症対策について、本市の医療体制の現状と課題、博物館・資料館の現状と課題についてと、生活交通について。これをまた閉会中の継続調査ということで、これも30日のときに発表させていただきます。

その他として何かございますか。前田委員。

○前田智永委員　　以前、地域包括ケアシステムで県外へ行こうというお話があって、コロナで延期されていると思うのですが、あれは年度内には行きたいという考え方でよろしいのでしょうか。

○林高正委員長　　個人的にはチャンスがあったら当然行きたいと思っておりますので、向こうの先生もコロナが落ちついてきたらおいでくださいと。やはり向こうは医療機関ですから、今行ってあげると大変邪魔になりますので、もうちょっと落ちついてからでないと難しいのではないかと。そうしていたら雪が降って行かれなくなるかもわからん。チャンスを見ながら、またこれは事務局のほうで時々相談しながら進めていきたいと思っておりますので。何にしてもコロナが一定程度落ちつかないと進んでいけない。坂本委員。

○坂本義明委員　　報告書のルーチンはルーティンではないか。

○林高正委員長　　どっちでもいいよ。ルーチンでもルーティンでも。いけなければ横文字を書いてあげる。では、ないようですので、これで本日の教育民生常任委員会を散会いたします。ありがとうございました。

午後3時35分　　散　　会

---

庄原市議会委員会条例第30条の規定により、ここに署名する。

教育民生常任委員会

委員長